

# Web Usability & Accessibility

16

警察庁サイト



アクセシビリティ分析担当  
**濱田英雄**  
(株)ユーディット 主任研究員  
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当  
**石田直子**  
(株)ユーディット 研究員  
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット

URL <http://www.udit-jp.com>

「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

## 近寄りやすいWebデザイン・構成 探し物をするのも至難の業

サッカーのワールドカップ期間中、試合会場などの犯罪抑止や安全確保のために奮闘した日本の警察。警察庁サイトは英語版を運営し、大会警備についても6か国語で注意を呼びかけるなど、Webでの情報案内の努力は感じられた。他省庁に比べて国民生活の身近な部分で接点を持ちながら、近寄りやすい存在感を漂わす同庁だが、ネット上での道案内はうまく稼働しているのか。Webの「ユーザビリティ&アクセシビリティ」について、濱田・石田両氏が監視する。

### Webサイトの国際化は 言葉より全体の統一感に配慮

ワールドカップ期間中、街中でもいつもより多くの外国の方を見かけました。外国を訪れるとき、Webによる現地情報収集はいまや欠かせないものとなっています。

Webで海外のサイトを調べるとき、言語によっては表示さえうまくできないことがあります。同様に日本のサイトも外国の方にとっては内容の予測さえつかないモノになっているのでしょう。サイトによっては国際化対応として、英語などの外国語のコンテンツを用意しています。警察庁でもトップページから日本語と英語が選択できるほか、ワールドカップについての情報は英語以外の言語のページも用意されています。しかし、日々更新されていくWebサイトを2か国語以上で公開するには、事実上複数のサイトを運営していくに等しい手間がかかります。これは多くのサイトにとっては現実的に不可能です。そのためにコンテンツの一部だけ外国語対応にする方法がよくとられます。ただし、中途半端に各国語対応ページを作っても手を抜いたという印象になってしまいます。

外国語版のコンテンツで、説明なく情報を減らすことになってはユーザーに対して失礼です。外国語対応しなかった部分には、その理由(国内に特化した内容であること)などを簡潔に記述すべきでしょう。またデザインや構成は同じにしておく、言葉

がわからなくても、画像などで内容や現在位置が予測できます。警察庁サイトではどんな配慮がされているか、次ページから見ていきましょう。

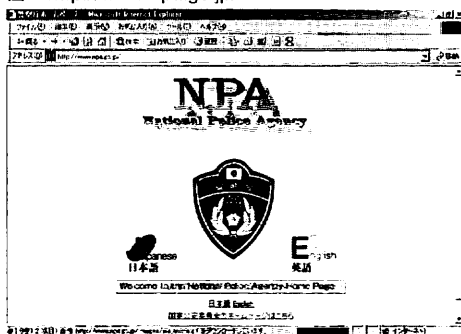
### 画像のALT属性には 何を書けばいいのか

Webには多くの画像が使われていますが、音声ブラウザなどを利用している視覚障害者には画像が何を表現しているのかわかりません。画像にマウスポインタをあてた場合に表示されるALT属性に書かれたテキストで、そのイメージを少しは知ることができます。しかし、視覚障害者がALT属性によって情報を得ることを知らないため、多くのWebサイトではALT属性を適当に入れたり、ALTそのものが無いという状況になっています。

ALT属性の役割は、視覚障害者のためだけでなく、何らかの原因で画像が表示されない場合や、非表示設定をしている場合に情報を提供する役目を持っています。また、英語文などの画像に、このALT属性をうまく利用すれば、高齢者や英語を理解しにくい人にとって有益な情報源にもなります。

今回の警察庁のトップページですが、ALT属性は上から、NPAのロゴに[National Police Agency]、日本語へのリンクボタンに[Japanese]、真ん中の徽章に[wappen]、英語へのリンクボタンに[English]、ようこそ警察庁……の動画GIFに[welcome]、というように英語でつけられています。これではわかりにくいので、たとえば最初は「ナショナル・ポリス・エージェンシー」、日本語と英語へのリンクは下にテキストリンクがあるので、全角スペースか何も入れず、真ん中の徽章は「警察庁ワッペンの写真」とし、動画GIFには「ようこそ警察庁のホームページへ」とすれば、より多くの人にわかりやすくなると思います。

図1 <http://www.npa.go.jp/>



### ユーザビリティ総合評価 ★★☆☆☆

一コメント 残念ですが、このサイトはとくに必要に迫られない限り、ユーザーが自分から訪れたいとは思わないでしょう。またこのサイトで探し物をするのも至難の業です。

### アクセシビリティ総合評価 ★★☆☆☆

一コメント サイト内のデザイン統一ができていないようで、配色やフレーム使用に問題があります。原因はわかりませんが、音声でたどれないリンクがあり、評価が下がりました。

### ユーザビリティについて (解説/石田直子)

#### ユーザーにサイトの目的が伝わること ★

トップページから日本語のメインのページに入ると、左にフレームが用意されてコンテンツの一覧が表示されます(図2)。このメニューですが、文字の大きさがすべて同じで、羅列しただけという印象を受けます。これではユーザーの頭に全体イメージが残りません。メニューは内容でグループ分けし、グループごとにタイトルをつけると、サイト全体の把握に有効です。

#### 全体像がトップページで把握できること ★

トップページは英語版と日本語版の選択ができ、メインコンテンツはそれぞれのリンクを開くと表示されるようになっています。ところで、入り口のページでは「警察庁」の文字がアニメーションでゆっくり大きくなっていきます。ちょっと見ただけでは警察庁とわかりません。無理に動きを見せず、警察庁の看板を堂々と出しましょう。

#### デザインや構成が統一されていること ★★

各コンテンツを覗いてみると、レイアウトが統一されていないページがみられます。おそらく追加したコンテンツや、管理が別の組織であるページは違うデザインを採用しているようです。また、統一されているページについても問題があります。全体イメージを統一してはいますが、ページの上部に表示されるテキスト画像(図2-①)まで統一されています。タイトルはその下にそれぞれ書かれている文字だというのが、一番大きく書かれているテキスト画像が同じでは、コンテンツの違いがわからなくなります。

#### 必要な情報が適切な場所にあること ★

ページによってはメニューフレームがないものがあります。さらに、デザインまでまったく違うものもあります。この場合、ナビゲーションが使えなくなるため、元のページに戻るには「戻るボタン」を入った階層分だけ押さなければなりません。

メニュー項目に新着情報とあります。5月末時点で、このページの一番上になっているのは3月14日の新着情報です。ところがサイトを閲覧していくうちに、5月27日の更新情報がありました(図3・4)。新着情報の役割は、ユーザーが以前に見たときから、追加、変更された内容は何かを確認するためです。最新情報がきちんと載せられていなければ、このページの実在意義はありません。

#### 次の動作がわかりやすいこと ★

サイト自体が単純なレイアウトのため、目次フレームが表示されている限り、操作方法やナビゲーションで迷うことはありません。しかし、問題はあまりに画一的な情報表示です。どの項目ページを開いても、同じように情報リストが羅列されており、とくにどれを見たいと思わせるような注意を喚起しないのです。

#### 予想されたフィードバックが返ってくること ★

メニュー項目には、いきなりPDFへとリンクされているものがあります。以前から書いているように、予告なくPDFへリンクすると、AcrobatReaderが起動するなど、ユーザーの予期しない動作になります。図5の一連の画面は、「安全・快適な交通の確保」の情報の一部ですが、ページごとに紙芝居的にデータが表示されます。もっとも伝えたい内容のページにたどり着くまでに、これだけのページを間に入れると、途中でやめてしまう人もいかもしれません。

図2

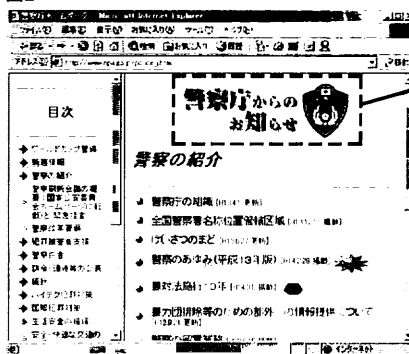


図3・4

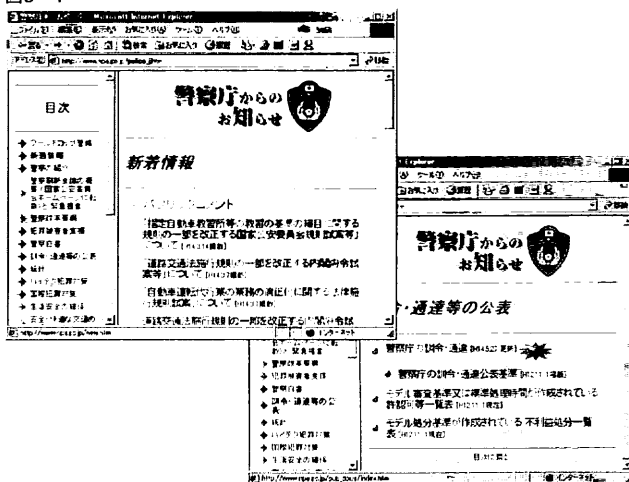
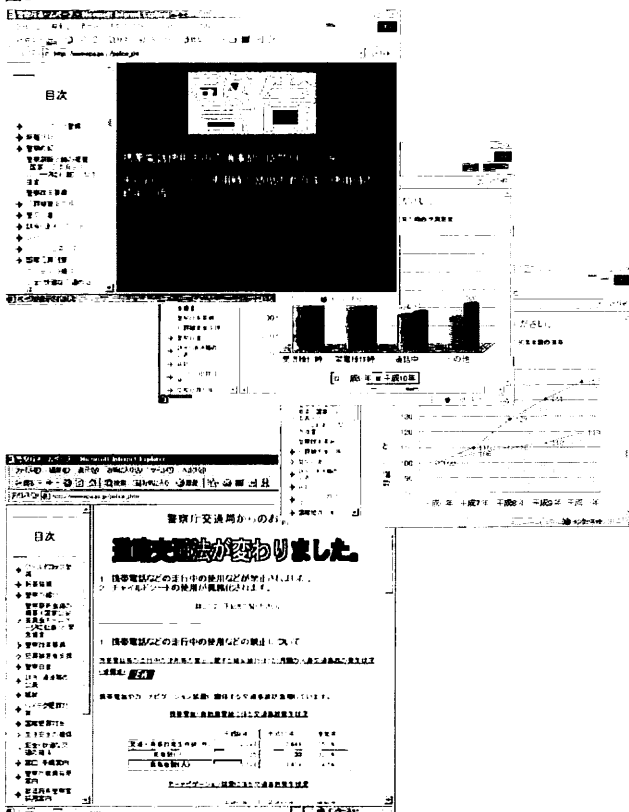
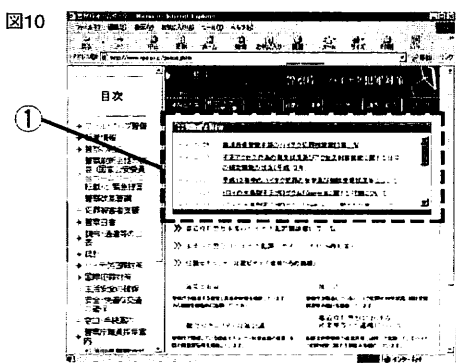
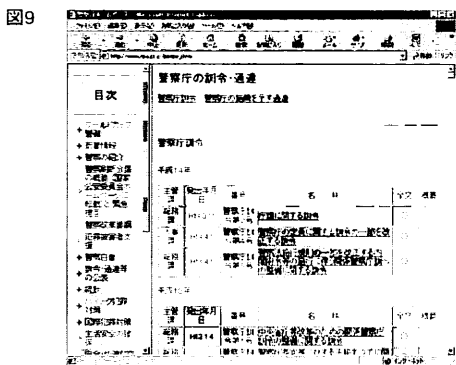
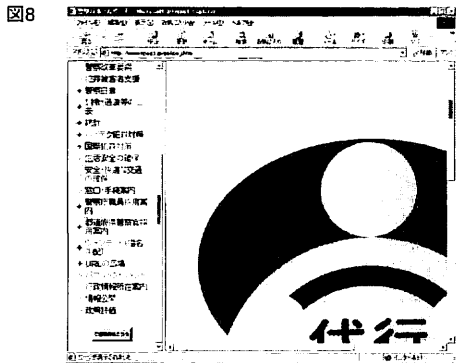
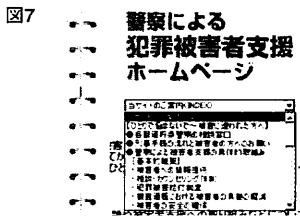


図5





## アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

画像にはALT属性をつけること ★★★

一部に英語のALT属性が使われていたり、情報の足りないところがあります。

外国語の乱用はしないこと ★★★★★

わかりにくい英語はあまり使われていないと思います。

<title>タグは的確につけること ★★

フレーム使用のため外からわかりにくいのですが、同じ<title>が使われたりしています。

背景と文字色はコントラストがあること ★

背景画像の黄色がやや濃く、目がチラチラするのと、背景文字で文章が読みにくくなっています。サイト内で背景色がいくつか使われていますが、淡い色か白の方が見やすいと思います。一部にタイトルの背景と文字色とが同系色で見にくいところがあります。

フレームの使用は必要最小限にすること ★★

目次のためのフレームが統一されず、いきなりなくなったりしています。また、意味のないフレームを使っているところがあります。

新しい技術には代替手段を用意すること ★★

一部ページに音声で読み上げないJava Scriptによるメニューがあります。また、テキストリンクにマウスカーソルがあたると太字になるJava Scriptもありますが、一部のブラウザでは認識されません。

その他

【犯罪被害者支援】

●作成サイズの問題(図6)

このページはフレームが縦に3つ使われており、ブラウザの横サイズを800ピクセルにしてもかなりの部分が隠れます。真ん中と同じ目次が右本文下にもあるので、この形が本当に必要か考慮し、少なくとも800ピクセルを超えないようにしましょう。

●プルダウンメニューの問題(図7)

右側に「INDEX」のプルダウンメニューがあります。マウス操作が難しい人がキーボードで操作する場合、Tabキーで選択して「↓」キーで目次を選択するのですが、実行ボタンのないこの形では、↓キーを押した途端にリンクされてしまい選択できません。「実行」ボタンのある形式にする必要があります。

【安全・快適な交通の確保】

●直接リンク先の問題(図8)

「代行運転自動車標識のデザイン」として画像が紹介されていますが、JPGに直接リンクをしているため、音声ブラウザでは何も情報が得られません。1ページ作って、<title>と簡単な説明を入れた方がよいでしょう。また、この画像は大きすぎると思います。

【安全・快適な交通の確保】

●1ページの長さの問題(図9)

昭和25年の通達まであり、極端に長いこのページは、読み込みに時間がかかります。ページを分けて行数を減らすか、長くなる場合は最初に目次をつけるなどして、目的の項目に飛べるようにしましょう。その際、途中に上に戻るアンカーを入れますが、マウスの操作性を考え、できれば右側につけましょう。

【ハイテク犯罪対策】

●新しい技術の問題(図10-①)

「What's New」のコーナーはJava Scriptで作られているようですが、音声ブラウザでは認識できませんでした。

【全体】

●いきなりPDFにリンクするところがあります。ブラウザを必要とするものは事前に知らせ、Acrobat Readerの入手先もわかりやすい場所に入れましょう。

●新着を伝える「NEW」の画像が、クルクル回る動画になっていますが、いくつもあると気になって文章が読みづらくなるので、配慮が必要です。